

御え気のこも思ひます。

（チキが欲しいといます）
（テストは五月中旬）
（買ってやるつもり）
（三円ぐらゐ）

家の方には相違ひずで、みいは

適当に遊びかう勉強うしきず

まやり、はうはまっ里になつたのを

つゝまえて、風呂へ入れるのに

大さねずす。

おチーマが地球を二週間で廻そ

帰そ来そも、おそろく我家は

同じ処に同じものを置そある

とお思ひになつてよう。

テーフ、念か爲、日に一ぺんづつ

みんながきこます。

だんく、大変なお仕事だとなと

とが判りかけているところずす。

先のことはどうでも、今やれることを

やれるのだから、いふはなつてしようか、

とにかく風邪を引かぬので、

もう四日経つたのをみえ、予定と

え気味を廻つて帰つて下さるうちに

待つています。

十四夜 禮々々

（三人共二階で寝てゐます）

十一時

一久 々々